

## 会 議 録

- 1 会 議 名 第1回北九州市送迎保育ステーション試行事業に関する  
検討懇話会
- 2 会 議 種 別 市政運営上の会合
- 3 議 題 北九州市送迎保育ステーション試行事業に関する意見交換
- 4 開 催 日 時 令和6年8月27日(火) 14時00分～15時15分
- 5 開 催 場 所 北九州市役所本庁舎 10階10C会議室  
(北九州市小倉北区域内1番1号)
- 6 出席者氏名 (1) 構成員  
東 裕美子、伊賀良 昌宏、高原 恵子、山本 佳代子  
(2) 事務局  
右田子ども家庭部長、鈴木こども施設企画課長、  
伊藤指導支援担当課長、和田企画係長
- 7 次 第 (1) 開会  
(2) 構成員紹介  
(3) 本検討懇話会の目的と今後のスケジュールについて  
(4) 北九州市送迎保育ステーション試行事業について  
(5) 意見交換  
(6) 閉会

### 8 会 議 経 過 (発 言 内 容)

○限りある予算のなかで、本試行事業の費用対効果について、今後丁寧に検証すべき。

○北九州市の私立幼稚園では、現行7割程度の世帯が園バスを利用しているので、  
私立幼稚園在園児が本事業を利用することはあまりないのではないか。

○バスの運行時間は、こどもの体力も考慮すると、30分程度だろう。

○バス運転手の健康状態をチェックするため、チェックリストを作成した方がよい。

○私立幼稚園において、保護者との会話については、3歳未満児を預ける保護者とは会話をする機会はあるが、3歳以上児では、連絡帳やアプリでの会話がほとんどで、対面での会話が少ない。保護者との会話の機会をいかに確保していくかが課題。

○人材不足のため、バス運転手の確保は難しいだろう。

○安全対策は細心の配慮が求められる。

○対象年齢を3歳児以上と想定しているが、事業を継続する場合、利便性を考えると、きょうだい児の利用を認めるかどうか。

○対象年齢は、満3歳児以上とすべき。

○事業目的に「保護者の通勤等の負担軽減を図り、ゆとりをもってこどもと向き合う時間をより確保することを目的とする」とあるが、送迎中でもこどもと接することができ、考え方によってはこどもと向き合う時間は確保できている。ステーションと保育所の2か所で過ごすことについては、保護者の利便性だけでなく、こども視点で事業を構築してもらいたい。

○利用者は少ないかもしれないが、この事業があって助かる人もいるかもしれない。

○北九州市の実情に応じた試行事業をすべき。

○ステーションでのこどもの過ごし方については、保護者の負担をより軽減するような工夫も必要。

○少数のニーズに応えることも重要。こどもは慣れない環境になると思うので、安心して過ごせる環境づくりに努めてほしい。

9 問い合わせ先 子ども家庭局子ども家庭部こども施設企画課  
電話番号 093-582-2550